

＜錯体化学若手の会ニュース＞ 2017 年度第 1 号

2017 年 5 月発行



錯体化学若手の会事務局
〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学理工研究域物質化学系
酒田 陽子

TEL: 076-264-5972; FAX: 076-264-5742

E-mail: sakata@se.kanazawa-u.ac.jp

錯体化学若手の会ホームページ
<http://www.sakutai.jp/yccaj/>

目次

- (1) 2017 年度事務局よりご挨拶
- (2) 錯体化学若手研究会 錯体化学若手の会夏の学校 2017 のご案内
- (3) 錯体化学会第 67 回討論会シンポジウムのご案内
- (4) 各支部勉強会のご案内
- (5) 錯体化学若手の会 2016 年度会計報告
- (6) 錯体化学若手の会 入会手続きのご案内

(1) 2017 年度事務局よりご挨拶

金沢大学理工研究域物質化学系 酒田 陽子

2017 年度の錯体化学若手の会事務局は、代表：酒田陽子（金沢大院自然）、会計：草本哲郎（東大院理）、次年度事務局：山内幸正（九大院理）、ならびに監事：高坂亘（東北大金研）の 4 名で担当させていただきます。錯体化学若手の会では、錯体化学関連の若手研究者や学生をエンカレッジするため、様々な行事を企画しております。本年度も「夏の学校」、「シンポジウム」や「各支部の勉強会」が開催されます。会員の皆様には是非とも積極的にご参加いただき、同世代同士の親睦を深めるだけでなく、それぞれの分野の第一線で活躍されている講師の先生方と積極的に議論をして、自身の視野や研究の幅を広げていただければと思います。

最後に、若手の会が有意義な研究交流の場となり、皆様の研究に対する知識、意欲が高められるようサポートしていく所存でございますので、一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

(2) 錯体化学若手研究会 錯体化学若手の会夏の学校 2017のご案内

錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校 2017」世話人
分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域 深津 亜里紗・近藤 美欧
名古屋大学大学院理学研究科 物質理学専攻(化学系) 邨次 智

錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校 2017」開催案内

https://groups.ims.ac.jp/organization/masaoka_g/sakutai-wakate2017ss/index.html

2017年度の錯体化学若手の会夏の学校は、中部・東海支部がお世話させていただくことになりました。愛知県蒲郡市の西浦温泉ホテルたつきにて、7月31日(月)より2泊3日の日程で開催いたします。開催場所として選びましたホテルたつきは、三河湾を一望する西浦半島の先端に位置しております。名古屋から約一時間でアクセスできる好立地でありながら、自然豊かな三河湾のパノラマ、露天風呂をはじめとした温泉、海水浴や新鮮な海の幸などを楽しむことができる魅力的な環境にあります。日頃の喧騒から離れたこの場所で、錯体化学の未来を担う全国各地の若手研究者の皆様と熱く深い議論ができればと思っております。

講演には錯体化学を中心に、様々な研究分野の最先端をリードされている先生方をお招きしております。また、今回新しい試みとして、活躍されている若手スタッフや学生の方々もご招待しご講演いただきます。恒例となりました参加者によるポスターセッションも行います。より多くの皆様のご参加を世話人一同心よりお待ちしております。

日 時：平成29年7月31日(月) 13:30 ~ 8月2日(水) 12:00頃

場 所：西浦温泉 ホテルたつき

〒443-0105 愛知県蒲郡市西浦町大山 25 番地

<http://www.tatsuki-aoi.com/>

定 員：150人

会 費：一般 27,000円、学生 20,000円

参加申込締切：平成29年6月9日(金)

申し込み方法：夏の学校参加登録ページ (<https://registration.ims.ac.jp/wakateSS2017/>) よりお申し込み下さい

招待講演者（順不同）：

山下 正廣 先生（東北大学）
石谷 治 先生（東京工業大学）
野崎 京子 先生（東京大学）
伊丹 健一郎 先生（名古屋大学）
人見 穰 先生（同志社大学）
今岡 享稔 先生（東京工業大学）
山田 鉄兵 先生（九州大学）
酒田 陽子 先生（金沢大学）
大谷 亮 先生（熊本大学）
大洞 光司 先生（大阪大学）
大曲 駿 さん（北海道大学 長谷川研究室）
山田 将大 さん（中央大学 張研究室）

問合せ・申込先：

〒 444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山 5-1

分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域 正岡グループ

深津亜里紗 近藤 美欧

TEL : 0564-59-5587

FAX : 0564-59-5589

E-mail : sakutai-wakate2017ss@ims.ac.jp

(3) 錯体化学会第 67 回討論会シンポジウムのご案内

錯体化学若手の会 2017 年度事務局
東京大学 大学院理学系研究科
草本 哲郎

錯体化学会第 67 回討論会（北海道大学）での若手の会シンポジウムでは、電子が有する自由度・角運動量としての「スピン」、ならびに自然科学の基本原則となる「角運動量保存則」に注目して、これらを巧みに用いた原理・現象・物性の開発あるいは解明に関して先駆的な研究成果を挙げられている若手~中堅クラスの研究者の方々に講演をお願いしました。スピンというと磁性を思い浮かべる方が多いと思いますが、磁性にとどまらず、有機発光素子、生体磁気感受、エネルギー移動、スピнкаロリトロニクスなど、スピンや角運動量保存則が鍵となる現象を対象とする多彩な研究分野に関してご講演頂く予定です。

本年も全て英語講演であり、またスピンというキーワードから「物理っぽくてむずかしそうだな」と参加を躊躇する学生さんもいるかもしれませんが、招待講演者には、出来るだけ平易に基本的な事柄から最新の研究成果まで分かりやすく語って頂けるようお願いをしております。どの講師の先生も、今後の目覚ましい発展が期待されている新研究分野を切り開き、かつ先導している気鋭の研究者です。このシンポジウムは、錯体化学者の好奇心を刺激し、視野を広げ、また科学の面白さを再認識させてくれると期待しています。

是非ご来場いただき、活発な議論をよろしくお願いいたします。

タイトル：**Spin as a key for developing exotic functions**

日時：2017 年 9 月 16 日（土） 15:00~

責任者：草本 哲郎（東大院理）

開催主旨：

Spin, an intrinsic form of angular momentum, is one of the important degree of freedoms of electrons. Innovative materials, functions, and principles based on the unique characters of the spin are emerging with advanced technology. These findings have a great potential to bring paradigm shift in a broad field of science and engineering, such as physics, chemistry, biology, electronics, life science, and energy-related issues.

This symposium aims to learn frontier of science in such rapidly-developing research fields from viewpoints of 'spin' and 'conservation of angular momentum', and covers a wide variety of research topics beyond coordination chemistry, including photon upconversion, quantum spin liquid, spintronics and spin caloritronics, organic photoelectronics, and magnetoreception in biology.

Outstanding researchers working energetically on these topics are going to introduce the basis and highlights of their studies.

I believe that this symposium stimulates the imagination and curiosity of students and young researchers to expand their scientific scope.

講演者（敬称略、順不同）：

中野谷 一（九州大学）、内田 健一（NIMS）、前田 公憲（埼玉大学）、山下 穰（東大物性研）、楊井 伸浩（九州大学）

(4) 各支部勉強会のご案内

○第 56 回錯体化学若手の会近畿支部勉強会

日時: 2017 年 6 月 3 日(土) 13:00 (12:30~受付)

場所: 大阪市立大学 杉本キャンパス

全学共通教育棟 812 教室 (ポスターセッション: 813 教室)

勉強会参加費: 無料

懇親会参加費: 一般 3000 円、学生 2000 円

講演者(順不同):

安井 裕之 先生 (京都薬科大学)

亀尾 肇 先生 (大阪府立大学)

小寄正敏 先生 (大阪市立大学)

内藤 順也さん (大阪大学, D3)

ポスター あり

参加申し込み: 当日参加も歓迎いたしますが、準備の都合上 5 月 28 日(日)までに下記問い合わせアドレスへご連絡いただけますと幸いです。

またポスターセッションに参加を希望される場合は、6 月 1 日(木)までにタイトルを下記問い合わせアドレスへご連絡ください。

問い合わせ先: 中江 豊崇 (大阪市立大学 生体分子設計学研究室 tytk427@sci.osaka-cu.ac.jp)

○第 10 回中国四国地区錯体化学研究会・若手の会中国四国支部勉強会

日時: 2017 年 5 月 27 日 (土) 13:00~17:00

場所: 広島大学理学部 E 棟 E002

勉強会参加費: 無料

懇親会参加費: 一般 5,000 円、学生 3,000 円

講演者:

鈴木 康孝 先生 (山口大学大学院創成科学研究科 准教授)

「金属錯体の多光子吸収励起挙動と生体のイメージング」

中島 覚 先生 (広島大学大学院理学研究科 教授)

「メスバウアー分光法と DFT 計算を用いたスピントロニクス現象と溶媒抽出の研究」

久保 和幸 先生（広島大学大学院理学研究科 助教）

「2 つのリン配位子が配位した炭素配位子が配位した白金錯体が配位した銀錯体の配位化学」

定金 正洋 先生（広島大学大学院工学研究科 准教授）

「規則的ミクロ細孔をもった結晶性モリブデン酸化物の合成と応用」

西原 禎文 先生（広島大学大学院理学研究科 准教授）

「単分子磁石をモデルとした新規誘電材料の創出」

世話人・問い合わせ先

広島大学大学院理学研究科化学専攻

西原 禎文 (snishi@hiroshima-u.ac.jp)

久米 晶子 (skume@hiroshima-u.ac.jp)

○錯体化学若手の会関東支部 前期勉強会 2017

日時：2017年6月3日（土） 10:30-17:00（受付：10:00～）

会場：筑波大学 筑波キャンパス 第一エリア1D201教室

（つくばエクスプレス つくば駅からバスで10分程度）

http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html

当日受付、参加費無料（懇親会費別）

講師の先生方、講演タイトル（順不同）

・芳賀 正明 先生（中央大学）

「電子・プロトン・光応答する固体基板上での錯体ナノ積層膜の機能創成」

・有賀 克彦 先生（物材機構 WPI-MANA）

「分子マシン・ナノカーを操る方法：必要なものは nm サイズのチップか cm サイズの手か？」

・栄長 泰明 先生（慶應大学）

「ダイヤモンド電極の応用展開」

・宇部 仁士 先生（東大塩谷研）

「分子の回転運動を見る：トリプチセンを基盤とする金属錯体型ギア分子の開発」

・塚本 孝政 先生（東工大山元研）

「金属錯体分子の精密設計による新規光機能材料の開拓」

問い合わせ先：倉持 達司（筑波大学 大塩研究室）kurmochi@dmb.chem.tsukuba.ac.jp

○錯体化学若手の会第5回九州・沖縄支部勉強会（九州錯体化学懇談会第252回例会との共催）

日時：平成29年6月17日（土）15：00～

場所：福岡大学

勉強会参加費：無料

講演者

山下正廣先生（東北大学 教授）

「単分子磁石を用いた量子分子スピントロニクス最前線：野茂とイチローはどちらが偉いか？」

学生講演を3名程度

問い合わせ先

石川立太（福岡大学）

ryutaishikawa@fukuoka-u.ac.jp

(5) 錯体化学若手の会 2016 年度会計報告

東京大学 大学院理学系研究科 草本 哲郎

2016 年度 会計報告および会員状況報告 (2017 年 2 月 28 日現在)

収入	前年度繰越	1,036,380
	平成 28 年度分会費 (307 名分 (学生))	307,000
	一般会員からの会費移算分 (99 名分)	99,000
	普通口座利子等	43
	収入合計	1,442,423
支出	若手の会シンポジウム	20,000
	支部活動支援金 (北海道・東北)	30,000
	支部活動支援金 (関東)	40,000
	支部活動支援金 (中部・東海)	30,000
	支部活動支援金 (近畿)	20,000
	支部活動支援金 (中国・四国)	20,000
	支部活動支援金 (九州)	20,000
	夏の学校支援金	150,000
	会員管理アルバイト謝金	60,000
	世話人会 会議費 (錯体化学討論会)	15,000
	世話人会 会議費 (日本化学会)	28,000
	支出合計	433,000
	差引残高	1,009,423

各支部の会員数と会費納入率 (前年度末比) (2017 年 2 月 28 日現在)

支部名	会員数 (前年度増減)	会費納入者数	会費納入率
北海道・東北	32 (-6)	32	100 %
関東	132 (+17)	132	100 %
北陸	10 (-3)	10	100 %
中部・東海	45 (+18)	45	100 %
近畿	114 (+13)	114	100%
中国・四国	14 (+3)	14	100 %
九州・沖縄	68 (+25)	68	100 %
不明・海外	1 (0)	1	100%
全国	416 (+67)	416	100 %

学生会員数 (会費納入者) : 307 名、一般会員数 : 99 名

(6) 錯体化学若手の会 入会手続きのご案内

学生の方（新規・更新とも）

- ① <http://sakutai.jp/yccaj/join.htm> から「会員登録フォーム」をクリック
- ② フォームにて必要事項を記入する。
- ③ 年会費 1000 円を以下の口座に払い込む(郵便局振替口座)

口座名義：錯体化学若手の会

口座番号：02200-6-107172

【郵便局以外からの振込みの場合】

店名：二二九 口座番号：当座 0107172

※研究室でまとめて払い込みを行う場合、払込書に入会者全員の氏名を記入してください。

- ④ 事務局で入金を確認次第、ID・パスワードが発行され、会員登録の完了となります。

注：学生会員の場合、自動更新ではないため、更新の場合も年次ごとに登録が必要となります。

学生以外（大学教員・研究者など）の方（新規）

錯体化学若手の会事務局（sakutai.wakate@gmail.com）にご連絡ください。

学生以外（大学教員・研究者など）の方（更新）

特に手続きは必要ありません。退会しない限り、自動更新となります。なお年齢制限により 40 歳になると自動的に退会となります。

登録に際して集めた情報のうち、本人の同意がある情報に関しては錯体化学若手の会及び錯体化学会の会員名簿冊子に記載されます。平成 17 年 4 月より「個人情報保護法」が施行になりましたので、以上をご理解いただき会員登録の際に名簿への記載に関して同意いただけるかどうかを必ず明記いただけるようお願い申し上げます。詳細は HP を参照するか下記事務局までお問い合わせください。

「錯体化学若手の会」とは？

本会は、錯体化学会の支部として錯体化学に関連した分野で研究を行っている若手の研究者（大学・企業・研究所の研究者）及び大学生・大学院生の交流・情報収集を通して、自らの研究に対する情熱と知識を高め、エンカレッジする会です（2016 年度若手の会会員数 416 名）。錯体化学に関心のある方なら、学生・スタッフ・企業人・大学関係者等、資格は問いません。会の活動と会員特典を以下に示します。

- ・錯体化学討論会への学生参加登録資格
- ・錯体化学討論会におけるポスター賞の応募資格
- ・錯体化学夏の学校の開催（会員割引あり）
- ・支部単位の勉強会開催
- ・錯体化学若手の会ニュース（年 4 回）の配布
- ・若手の会会員名簿の閲覧（名簿記載者のみ）
- ・錯体化学会会員名簿の閲覧（名簿記載者のみ）
- ・錯体化学会誌（BJSCC）の配布（電子版）
- ・錯体化学会のメーリングリストによる全国の錯体化学会員への情報発信

錯体化学若手の会事務局

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学理工研究域物質化学系

酒田 陽子（代表）

TEL: 076-264-5972

E-mail: sakata@se.kanazawa-u.ac.jp

若手の会ニュース・メールニュース・Web ページへの記事掲載は事務局 (sakutai.wakate@gmail.com または sakata@se.kanazawa-u.ac.jp) にご連絡ください。

錯体化学若手の会ホームページ

<http://www.sakutai.jp/yccaj/>

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院理学系研究科化学専攻

草本 哲郎（会計）

TEL: 03-5841-4348

E-mail: kusamoto@chem.s.u-tokyo.ac.jp